

檀原市立図書館だより

平成31年3月24日発行  
第40号

# 檀の樹

- 書庫って  
どんどころ? 2
- 図書館員の本棚 3
- お知らせなど 4



私は海。ぼくは夜。本の中ではどこへでも。

## 書庫ってどんなところ？

橿原市立図書館には 30 万冊の本がありますが、自由に入出りできる開架(1 階2 階)には 11 万冊しかありません。残りの 19 万冊はどこにあるのでしょうか？図書館には 3 階 4 階に閉架書庫(本の倉庫)があり、19 万冊の本や古い新聞、雑誌などを保管しています。今回は利用者さんが入ることのできない書庫の様子を紹介します。

### 3 階書庫 (205 m<sup>2</sup>)

電動の集密書架に、一般書(大人向けの本)が約 11 万冊並んでいます。集密書架は狭い場所に沢山の本が置けるように、スチール製の棚が可動式になっており、使用しない通路の空間を省くことができます。固定式書架と比較すると、倍以上の資料を収納することが可能です。



集密書架



棚の中は本がぎっしり



個人全集

### 4 階書庫 (185 m<sup>2</sup>)

児童書、郷土資料、文庫本、団体貸出用図書などが約 8 万冊、古い新聞、雑誌も保管しています。



左:集密書架 右:文庫本



絵本



新聞



## 図書館員の本棚(24)

『ニホンオオカミの最後』

遠藤公男／著 山と溪谷社／発行



明治38年1月23日に奈良県東吉野村鷲家口で捕獲されたのを最後に、姿を消してしまったニホンオオカミ。かつて、彼らは日本中どこにでもいた。もしかすると橿原市にも生息していたかもしれない。ニホンオオカミは日本列島がまだ、陸続きだったころに大陸から渡ってきたタイリクオオカミの亜種であり、島国になった日本で独自に適応してきた種である。彼らが最初の文献に登場したのは万葉集。そこには「大口の真神」という表現で書かれており、その意味は「大きな口の神」ということである。つまり、彼らは神獣とされていた。その後、「大きな口の神」から「大神（オオカミ）」と呼ばれるようになり、狼（犴十良い）という漢字で書かれるようになった。では、どうして彼らは絶滅してしまったのだろうか。この本では、主に旧盛岡藩（現在の岩手県）を中心としたニホンオオカミの痕跡を、過去の資料や記録、地域での言い伝え、形見等を探しながら、絶滅へと至る彼らを追っていく。

江戸時代以前、旧盛岡藩周辺では、ニホンオオカミを頂点としたバランスのとれた生態系があった。しかし、江戸時代初期から、シカ・イノシシといった草食動物の乱獲により、餌を失ったニホンオオカミは次第に家畜や人を襲うようになる。被害に困った藩は、オオカミ狩りをおこなう。被害がひどくなった江戸時代後半は、より大規模なものになっていく。時代は明治へと代わる。すると政府もオオカミ狩りを奨励し、ニホンオオカミの首に相当な額の賞金をつけた。賞金をもらった人の記録が残っており、多くの人がオオカミ狩りにでかけただろうと推測できる。そうした乱獲が、彼らを追い込み、絶滅へと至らせたのであろう。大筋の流れは以上になるが、この本では「当時の資料や証言」から当時の様子を想像し、具現化しながら話を進めている点がおもしろい。まるで、当時の様子が頭に浮かんでくるようである。

その他にも、狼酒、ニホンオオカミの頭蓋骨、オオカミの根付けや狼祭りの発見など、ニホンオオカミの痕跡や風習についても調査されている。このような風習が残っていることは、喜ばしいことであると思う。しかし、かつて日本中にいたニホンオオカミの化石（生きていた証）がほとんど残っていないということは、あまりにもさびし過ぎる事実ではないだろうか。

## 榎原市立図書館

榎原市小房町11-5

TEL:

0744-29-2121

FAX:

0744-29-1011

https:

//www.city.kashihara.nara.jp/

## 編集後記

曝書(ばくしょ)

榎原市立図書館は毎年2月の後半から「ある作業」のため休館します。休館中にしている作業を「曝書」といいます。「曝書」とは紙魚の害を防ぐために和書を天日に曝すことが起源でしたが、現在では図書館で所蔵しているすべての資料の有無と場所を確認する作業を意味します。一般的には「蔵書点検」「特別整理」「棚卸し」と表現します。曝書中は初日に図書館にあるすべての資料が所定の棚に正しい順番に並んでいるか1点1点確認しながら、整頓して行きます。次に場所区分毎にポータブル端末で読み取り、在庫データを溜めます。在館中の資料は約27万冊、すべての資料をひたすらポータブル端末で読み取る作業は、もはや苦行です。数日かけて読み終えたすべてのデータと図書館システム上のデータを比較してエラーリストを作ります。棚にあるはずなのに読み取れなかった本、所定の棚に並んでいなかった本を探し出してデータを修正します。その他の作業として、棚の清掃、本の修理、レイアウトの変更、館内の案内サインの変更、除籍などを終え、最終日に曝書中に返却された本を棚に並べて終了します。▼天日干しはしませんが、紙魚の害を防ぐために古書の樟脳はこの時期に交換します。(編者)

## お知らせ

### 2019年3月 図書館システムが新しくなりました。



## 新機能(Web OPAC)

### かんたん検索

入力した文字から予測される所蔵タイトルのキーワード一覧を表示します。

### 書影表示

ログイン状態で本を探す時に書影(本の表紙)が表示します。

### マイ図書館(ログインが必要です。)

#### マイ本棚

お気に入りの本などを登録、保存ができます。

#### 返却確認メール

貸出資料の返却日をお知らせするメールを受信する設定ができます。

#### 新着お知らせメール

あらかじめ登録した条件に合った資料をメールでお知らせできます。

#### 読者評価

検索結果書誌詳細画面に「読者評価」欄ができました。お勧めの本に★による評価をすることができます。(ログインが必要です。)

#### スマホ対応

蔵書検索システム、利用者メニューがスマートフォン画面にも対応するようになりました。

#### 表紙の写真

平成30年度「奈良県子どもの読書活動推進」啓発ポスター優秀作品より  
上段 藤川日彩さん(真菅小学校) 下段 吉村咲里さん(香久山小学校)の作品。